



平成27年度

土地改良区基盤強化事業 会計コース研修会 開催

水土総合強化推進対策事業の一環として、複式簿記会計の理解を深めることを目的とした「平成27年度土地改良区基盤強化事業会計コース研修会」が、国・全国土地改良事業団体連合会（以下「全土連」）の担当者を講師に、平成27年10月9日（金）三重県総合文化センター文化会館内2F大会議室において、全土連主催で開催された。

当日は、県内の国営・水資源、県営級の水利系土地改良区、合併した土地改良区の役職員のみならず愛知県、岐阜県からの担当者を含め37人が出席した。

土地改良区では、これまでの会計処理は単式簿記による現金主義で処理が行われていたが、財産と負債の変動に係る情報を記録する仕組みでないため、財務状況が把握しにくいという欠点があった。近年組合員のコスト意識が高まり、事業等に要した費用の妥当性についての説明、役職員による



全土連浦山参与 講義

不正の未然防止と併せ公会計の動向として国民に対する説明責任を果たすためにも発生主義である複式簿記の導入が推進されることとなった。

研修会では、まず

本会の中山専務理事、主催者として全土連浦山参与の挨拶で始まり、その後研修に移った。

研修は、複式簿記の基礎知識から会計基準、資産評価と減価償却の演習など実務に即した内容でパワーポイントを用いた分かりやすい説明であったが、なじみの薄い複式簿記であったため出席者は真剣な眼差しで講義を聴き入っており、科目ごと絶えずメモを取っていた。

複式簿記への移行を検討している土地改良区の会計担当者にとって、適正化事業の拠出金仕訳方法、施設財産台帳に取得原価が記載されていない場合の資産価格水系方法など非常に関心の高い内容で有意義な研修となった。



農水省土地改良企画課西村補佐 講義



全土連茂木講師 講義

時 間	研 修 科 目	講 師 (敬称略)
10:00～10:30	受付	
10:30～10:40	開 会	三重県土地改良事業団体連合会 専務理事 中山雅仁
	(主催者挨拶)	全国土地改良事業団体連合会 参与 浦山正四
10:40～12:00 (80分)	会計制度、複式簿記の基本について	全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター 参与 浦山正四
12:00～13:00	昼 食 (会場内)	
13:00～14:00 (60分)	検査指導基準、会計基準について	農林水産省農村振興局 土地改良企画課 課長補佐 西村雅裕
14:00～14:50 (50分)	土地改良区会計基準に基づく 会計の実際について	全国土地改良事業団体連合会 複式簿記指導グループ 講師 茂木吉成
14:50～15:00	休 憩	
15:00～15:30 (30分)	資産評価と減価償却の演習	全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター 参与 浦山正四
15:30～16:00 (30分)	小水力発電会計について	全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター 参与 浦山正四
16:00～	閉 会	三重県土地改良事業団体連合会 総務部長 加藤 巖



研修会の様子